

平成22年度第3回 岐阜県青少年育成審議会 議事録（要旨）

日 時	平成23年3月2日（水） 13:30～15:00
場 所	岐阜県庁 議会西棟3階 第1会議室
出席者	<p><委員> 15名（欠席委員5名） 浅野（辰）委員、安藤委員、伊藤委員、岩田会長、塩屋委員、坂井委員、玉腰委員、永井委員、服部委員、平田委員、森委員、岡安委員、磯谷委員、孫工委員、廣田委員</p> <p><県> 10名 正木環境生活部次長、箕輪男女参画青少年課長、水谷子ども家庭課長、西垣労働雇用課長、杉山学校支援課課長補佐、高木社会教育文化課課長補佐、男女参画青少年課職員4名</p>

会議の概要	
1	開会
2	環境生活部次長あいさつ
3	審議事項
	<p>(1) 第2次岐阜県青少年健全育成計画（案）について 資料に基づく説明後、意見交換を行い、計画案の内容のとおり答申することについて了承を得た。</p> <p>(2) 有害図書類の指定について（諮問） 資料に基づく説明後、了承を得た。</p>
4	<p>条例の規定に基づく報告事項 有害興行の指定について（緊急指定報告） 資料に基づき、報告された。</p>
5	閉会

議事の概要		
進行次第	発言者	発 言
3 審議事項 (1) 第2次 岐阜県青少年健全育成 計画（案） について	岩田会長	第1部会長にこれまでの審議会全体の印象等について伺いたい。
	安藤委員	まず、ニート、ひきこもりの状況、問題行動の状況、家庭教育の連携状況などについて現状の分析をした。その後事業計画として予算の推移について説明を聞いた。各委員それぞれの立場からご意見をいただき、学校の役割、地域との連携のあり方、特に私は家庭のあり方に注目していたが、企業との連携、関係機関、NPOとの連携のあり方について議論があり、それがこの計画案に反映されているのではないかと考えている。
	岡安委員	子どもの貧困を盛り込んだことはいいことだと思うが、この計画に盛り込まれることによって、例えば母子家庭の母親の就職について優遇するな

	ど、個別の政策が強化されるのか。
子ども家庭課長	この計画に限らず、母子家庭支援は重要であり、具体的な施策として、高等技能訓練の促進を強化したいと考えている。現在、看護師や保育士などの資格をとるため学校へ通う間の生活費の給付を行っているが、来年度は更に予算を増額し、利用者数の拡大を図りたいと考えている。
平田委員	岐阜県若者サポートステーション登録者の進路決定率の数値目標が示されているが、国からは（これより低い）30%以上の目標が示されている。困難を有する若者の進路決定率を上げるためには、職業体験、インターンシップなどの啓発的体験が非常に有効だが、今、企業開拓は若者サポートステーション独自で行っている。数値目標をクリアするために、ご協力いただきたいことは多々ある。計画案には一般の青少年に対する就労支援施策は明記してあるが、困難を有する青少年に対する支援のところに、企業連携やインターンシップなどの施策について記載がない。それで目標を達成することは厳しい感じがする。困難を有する若者も含めて、就労体験等の支援施策を盛り込んでいただきたい。
労働雇用課長	若者サポートステーション登録者進路決定率の国の30%以上という目標値に対して、直近2か年度の実績の平均値の方が高く、実績より低い目標を設定することはよくないと考えた。失業者・離職者の職業訓練による就職決定率6割という目標値も参考に、困難度、実績を加味し、また、目標であり高めに設定したいという思いもあり、今回の数値とした。
平田委員	目標値については、低いよりは高い方がいいと思うが、連携できる体制や広報などで協力をいただきたい。
岩田会長	数値目標については、他の計画など、いろいろな根拠や意味合いがあって設定している。中には、高いと感じるものもあるが、積極的に取り組んでいく、PRしていくということだと思う。
服部委員	安全・安心まちづくりボランティアの関係で、地元で、防犯ボランティア団体の役員として、活動を行っている。計画案には、支援策として情報提供の記載があり、またジャンパーの支給などの支援も実施されているが、例えば落書消しなどをするにも材料費がかかるので、財政的支援をしてほしい。
環境生活部次長	県財政が厳しく、財政的支援について事業費が縮小傾向にあることは事実である。財政的支援として、計画案にも記載しているが、「新しい公共支援基金」を造成し、来年度から2か年で、行政とNPO団体等によるモデル的な協働事業に活用していくこととしている。公募をかけ、運営委員会で事業を選定させていただく。
服部委員	そうした事業は、組織がしっかりしたところが対象であり、地域に密着した小さな団体への支援をしてほしい。
環境生活部次長	NPO等は、資金的な面で困っていると認識しているが、その意味で、この基金を使い、寄付を募れるようNPOをPRする場を設けたり、金融機関で借りるときの個別相談できる専門家の派遣など、環境整備をしたい。これ以外にもいろいろな方策を考えていきたい。
岩田会長	本日晒された計画案について、審議会として、事務局案を了承してよろ

(2)有害 図書類の指 定	岩田会長	しいか。 (異議なし) 諮問のあった図書について、有害図書類として指定することとしてよろ しいか。 (異議なし)
---------------------	------	--